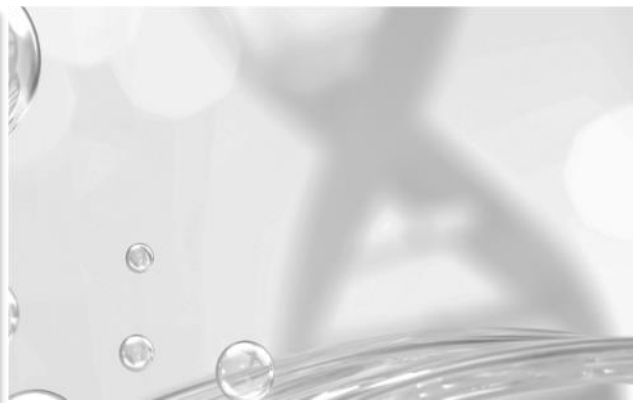
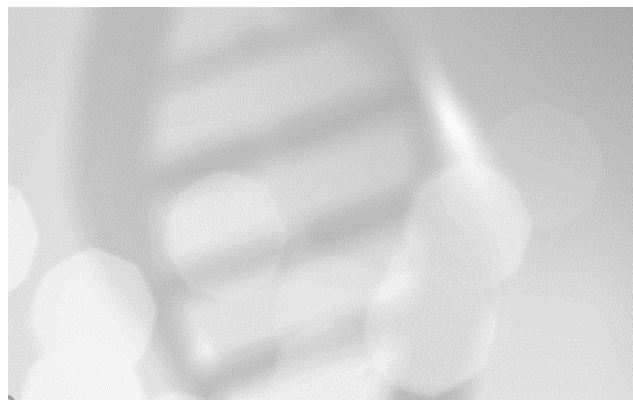
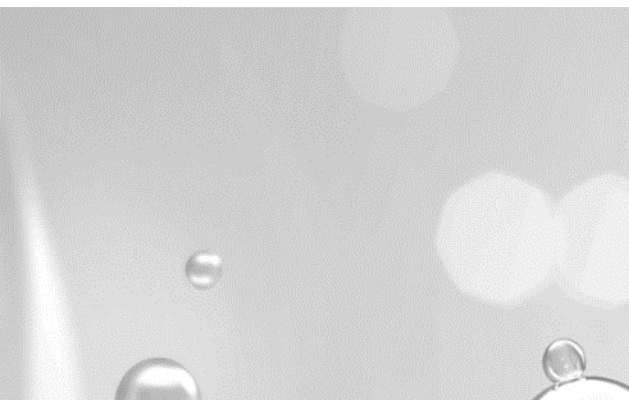


# GTB 2023年度活動報告、2024年度活動計画(案)

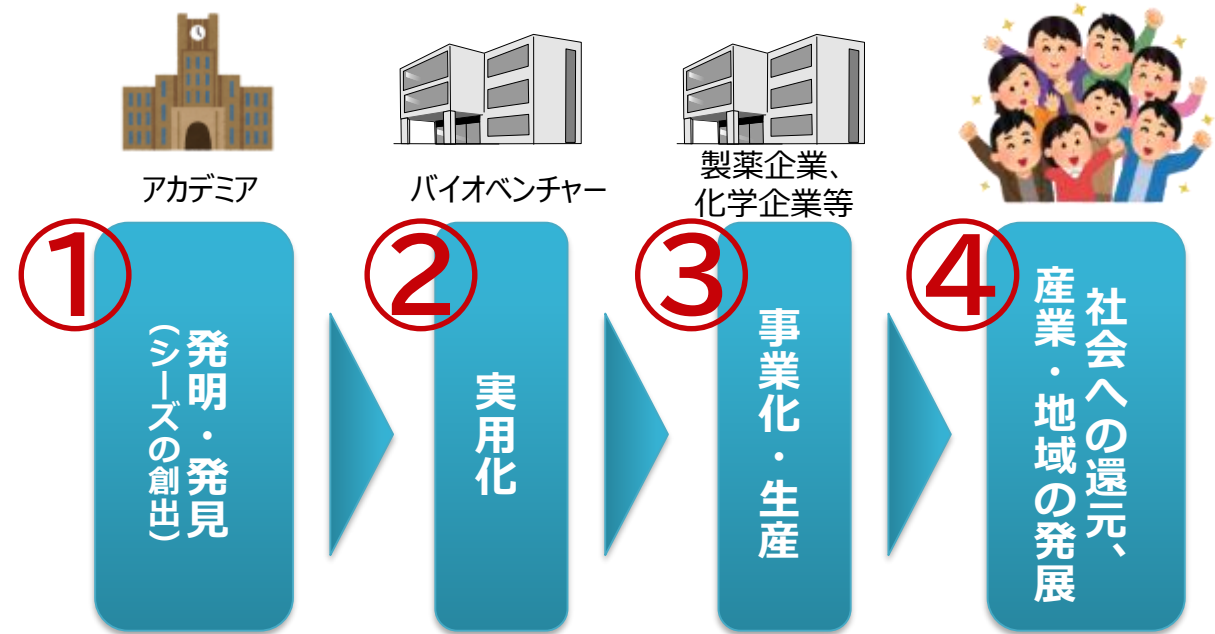


2024.3.4  
GTB事務局



# 2023年度 報告

- ① 研究開発
- ② インキュベーション  
(ハード&ソフト)  
ベンチャー支援
- ③ 生産設備
- ④ 民間投資



① 研究開発

21 国プロジェクト

総額 最大約**1,800**億円／10年(2021-2030)

② ベンチャー支援

国の支援

推定約**1,750**億円／7年(2023-2030)

③ 生産設備

12製造拠点・本社機能

国の補助金 約**2,000**億円

④ 民間投資

総額 > 約**5,000**億円／約2年  
(2021-2023)

# 計**1兆円**の投資

## 国の投資

約**5,000**億円

- ① 研究開発 1,800
- ② ベンチャー支援 1,750
- ③ 設備投資 2,000

## 民間の投資

約**5,000**億円



### (参考) 他の都市との比較

● マサチューセッツ州  
VC投資: 1兆2200億円 (\$8.72 bil., 2022年) 1\$=140円

● ソウル市  
2023年に、4年間で5,200億円 (\$3.7 bil.)のスタートアップ投資を発表。  
うち、バイオフンドは780億円 (\$560 mil.)。

出典:

- 1) MassBio 2022 BIOPHARMA FUNDING REPORT
- 2) KoreaTechDeskホームページ (2023.2)

# ① 研究開発 国プロジェクト

(2023.4現在)

21 プロジェクト

総額 最大約1,800億円/10年(2021-2030)

## 1. つくばエリア

- JST 共創の場形成支援プログラム/バイオ分野・本格型「つくば型デジタルバイオエコノミー社会形成の国際拠点」:筑波大学 等
- AMED 医工連携イノベーション推進事業:つくばグローバル・イノベーション推進機構 (TGI) 等
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「バイオものづくり技術によるCO2を原料とした高付加価値化学品の製品化」:積水化学工業

## 2. 柏の葉エリア

- AMED次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業「革新的次世代核酸医薬」:東京理科大
- 経済産業省 再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業:J-TEC、国立がん研究センター、帝人、三井不動産
- 文部科学省 地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業:千葉大学 等

## 3. HOTS HILL

- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「ビヨンド・“ゼロカーボン”を目指す“Co-JUNKAN”プラットフォーム」研究拠点」:東京大学 等
- AMEDワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業:フラッグシップ拠点:東京大学
- 経済産業省 再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業:東京医科歯科大 等

## 5. 川崎エリア

- JST共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点」:川崎市産業振興財団 等
- NEDO GI基金(バイオものづくり)光合成によるCO2直接利用を基盤とした日本発グローバル産業構築:ちとせ研
- AMEDワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業:サポート機関:実中研
- 経済産業省 再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業:藤田医科大学(東京都大田区)、慶應義塾大学、実験動物中央研究所、(一社)RINK等

## 6. 横浜エリア

- JST共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現するメタケアシティ共創拠点」:横浜市大

## 8. 千葉・かずさエリア

- NEDO バイオファウンドリ「生産実証プラットフォーム」:GEI
- AMEDワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業:シナジー拠点:千葉大学
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「CO2固定微生物利活用プラットフォームの構築」:NITE

## その他 東京圏

- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「誰もが参加し繋がることでウェルビーイングを実現する都市型ヘルスコモンズ共創拠点」:慶應義塾大学(新宿区) 等
- JST 共創の場形成支援プログラム/共創分野・本格型「カーボンネガティブの限界に挑戦する炭素耕作拠点」:東京農工大(小金井市) 等
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「水素細菌によるCO2とH2を原料とする革新的なものづくり技術の開発」:双日(千代田区)
- NEDO GI基金(バイオものづくり)「CO2を原料に物質生産できる微生物による製造技術等の開発・実証」:富士フイルム(神奈川県)



# ②ベンチャー支援 創薬ベンチャーエコシステム強化事業 認定VC

(2023.4現在)



## 3. HOTS HILL

- **株式会社ファストトラックイニシアティブ**
- **DCIパートナーズ株式会社**
- **東京大学協創プラットフォーム開発株式会社**
- **株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ**

## 4. 日本橋エリア

- **Remiges Ventures, Inc.**
- **Newton Biocapital Partners**
- **三菱UFJキャピタル株式会社**

## その他 東京圏

- **Catalys Pacific, LLC (港区)**
- **D3合同会社(D3LLC) (渋谷区)**
- **Eight Roads Capital Advisors  
Hong Kong Limited (港区)**
- **Saisei Ventures LLC (品川区)**
- **JICベンチャー・グロース・インベストメンツ (港区)**
- **ジャフコグループ株式会社 (港区)**

## 国の支援

推定約 **1,750** 億円 / 7年(2023-2030)

(支援総額は約3,500億円 × 東京圏には全国の半数の関連ベンチャーが所在)

\*17 認定VCの内、13社が東京圏に拠点を有する



# ③ 生産設備

(2023.4現在)

## 国の補助金 約2,000億円

### 2. 柏の葉エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:(本社) Arcalis

### 3. HOTS HILL

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:  
(本社) VLPセラピューティクス ジャパン
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:(本社)藤森工業

### 4. 日本橋エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:  
(本社) MeijiSeikaファルマ
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:  
(本社)富士フイルム富山化学
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:  
(東京事業所):タカラバイオ

### 6. 横浜エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:AGC

### 7. 湘南エリア

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:  
エリクサジェン・サイエンティフィック・ジャパン

### 8. 千葉・かずさエリア

- NEDO バイオファウンドリ「生産実証プラットフォーム」:GEI
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:ヤマサ醤油 (銚子市)
- NEDO GI基金「バイオエタノール由来のSAF (持続可能な航空燃料) 製造実証設備の開発と展開」:出光興産

### その他 東京圏

- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:  
第一三共, 第一三共バイオテック (北本市)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:  
(本社) 藤倉コンポジット (江東区)
- ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業:  
(本社) ロキテクノ (品川区)



\*17 認定 バイオ医薬品製造拠点の内、  
12が東京圏に製造拠点・本社機能を有する



# ④ 民間投資 トピックス (2021.4~2023.7) 総額 > 約5,000億円 / 約2年

## 1. つくばエリア

1. エーザイが筑波研究所グランドデザイン改修 (85億円)
2. プロロジスが西部工業団地敷地内にインキュベーション施設を併設した物流施設を建設 (金額非開示)
3. 日清食品がつくばみらい市に製造工場用地取得 (130億円)

> 215億円

## 2. 柏の葉エリア

1. 帝人が再生医療等製品のCDMOを設置 (金額非開示)
2. アステラスが癌微小環境オープンノベーション拠点開設 (金額非開示)
3. H.U.グループ中央研究所がオープンノベーション拠点開設 (金額非開示)
4. 三井不動産が賃貸ラボ&オフィスを建設 (金額非開示)
5. 三井不動産が病院連携ホテルをがん研究センター東病院敷地内に建設 (金額非開示)
6. SMCが柏の葉キャンパス新技術センターを新設 (金額非開示)

> 150億円

## 3. HOTS HILL

1. 東京大学とクボタが、産学協創協定を締結 (10年間で100億円)
2. Green Earth InstituteがIPO (116億円)
3. サイフーズがIPO (123億円)
4. オリシロジェノミクスがモデルナにM&A (\$85M)

451億円

## 4. 日本橋エリア

1. 三井不動産が三井リンクラボ新木場2を開設 (金額非開示)
2. 三井不動産が(仮称)三井リンクラボ新木場3を建設 (2024年秋竣工、金額非開示)
3. Repertoire GenesisをユーロフィンがM&A (金額非開示)
4. Bolt MedicalをメディキットがM&A (金額非開示)
5. ペルセウスプロテオミクスがIPO (101億円)
6. レナサイエンスがIPO (101億円)
7. サスメドがIPO (283億円)
8. クオリプスがIPO (99億円)
9. 資金調達 (5億円以上) 14社総額255億円

> 1,138億円

## 5. 川崎エリア

1. ペプチドリームがキングスカイフロント内に研究所を新設予定 (195億円)
2. 島津製作所がキングスカイフロントに「Shimadzu Tokyo Innovation Plaza」を開設 (20億円)
3. 藤田医科大学がHICityに「藤田医科大学東京先端医療研究センター」を開設予定 (金額非開示)

> 215億円

## 6. 横浜エリア

1. 中外製薬が研究所を新設 (1,700億円)
2. ユニバレオが研究所を新設 (119億円)
3. レゾナックが研究所を新設 (64億円)
4. フープパートナーズが賃貸ラボを新設 (総額15億円、内R&D関連額2.2億円)
5. AGCがAGC横浜テクニカルセンターにバイオ医薬品製造設備導入予定 (数百億円)

> 1,898億円

## 7. 湘南エリア

1. 高砂香料工業が旧中外製薬鎌倉研究所跡地を取得 (金額非開示)
2. Chordiaが資金調達 (\$71.0M)
3. PRISMが資金調達 (\$43.2M)
4. Fimecsが資金調達 (\$26.1M)
5. Reborna Biosciencesが資金調達 (\$13.2M)
6. Orizuru Therapeuticsが資金調達 (\$10.3M)
7. GexValが資金調達 (\$9.9M)
8. SEEDSUPPLYが資金調達 (\$1.4M)
9. GenAhead Bioが資金調達 (\$1.2M)
10. Noile-Immune BiotechがIPO (220億円)

> 452億円

## 8. 千葉・かずさエリア

1. 千葉大発スタートアップが資金調達 (複数の合算) (30億円)
2. Green Earth Instituteが木更津市に「サテライト研究所」稼働 (金額非開示)、茂原市に「バイオファクトリー研究所」を建設 (金額非開示)
3. 出光興産がバイオ由来原料によるSAF製造装置を建設予定 (457億円)

> 487億円

## その他 東京圏

- 日本凍結乾燥研究所が体外診断用医薬品製造開発拠点の立地決定 (金額非開示) (埼玉県鶴ヶ島市)
- 東ソーが研究所を新設予定 (72億円) (神奈川県綾瀬市)

> 72億円



・ (注) 現状、多様な投資を記載しています  
・ 2022年平均為替で換算 \$1=¥131.52

# インキュベーション(ハード) インキュベーション施設 (2023.9現在)

総面積 約556,000 m<sup>2</sup>

## 1. つくばエリア 14,233 m<sup>2</sup>

1. (株)つくば研究支援センター(TCI) 11,200
2. つくば創業プラザ Start Up Office 265
3. つくばスタートアップパーク 1,852
4. Astellas SakuLab-Tsukuba 916

## 2. 柏の葉エリア 49,049 m<sup>2</sup>

1. 東葛テクノプラザ 11,881
2. 東大柏ベンチャープラザ 2,856
3. 東大柏IIアントレプレナーハブ (産学官民連携棟) 1,825
4. 三井リンクラボ柏の葉1, 10,978
5. 柏の葉オープンイノベーションラボ (KOIL) 9,794
6. KOIL TERRACE 11,715

## 3. HOTS HILL 8,122 m<sup>2</sup>

1. TIP (TMDU Innovation Park) 664
2. 東京大学アントレプレナーラボ 3,816
3. 東京大学アントレプレナープラザ 3,642

## 4. 日本橋エリア 50,234 m<sup>2</sup>

1. 日本橋ライフサイエンスビルシリーズ (15施設) 18,575
2. 三井リンクラボ新木場1 11,170
3. 三井リンクラボ新木場2 18,240
4. 三井リンクラボ葛西 2,249

## 5. 川崎エリア 73,403 m<sup>2</sup>

1. ライフイノベーションセンター (LIC) 16,105
2. 川崎生命科学・環境研究センター (LiSE) 2,000
3. 川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) 239.4
4. Research Gate Building III (RGBIII) 10,000
5. かわさき新産業創造センター (KBIC) 36,959
6. かながわサイエンスパーク (KSP) 7,535
7. Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC) 565

## 6. 横浜エリア 39,128 m<sup>2</sup>

1. 東工大産学共同研究棟 J3レンタルラボ 1,527
2. 東工大横浜ベンチャープラザ (YVP) 2,795
3. 横浜バイオ産業センター (YBIC) 6,000
4. 横浜新技術創造館 (リーディングベンチャープラザ) 5,552
5. 横浜市産学共同研究センター 8,363
6. 横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア 14,891

## 7. 湘南エリア 300,000 m<sup>2</sup>

1. 湘南ヘルスイノベーションパーク 300,000

## 8. 千葉・かずさエリア 4,184 m<sup>2</sup>

1. かずさインキュベーションセンター 1,449
2. 千葉大学亥鼻イノベーションプラザ 2,735

## その他 東京圏 18,076 m<sup>2</sup>

1. 和光理研インキュベーションプラザ 2,608
2. 早稲田大学アントレプレナーシップセンター 778
3. 農工大・多摩小金井ベンチャーポート 1,650
4. ベンチャープラザ船橋 2,412
5. さがみはら産業創造センター 2,623
6. 慶應藤沢イノベーションビレッジ 1,470
7. 東京起業推進センターCross Point飯田橋 3,649
8. 東京起業推進センターCross Point市ヶ谷 I 1,703
9. 東京起業推進センターCross Point市ヶ谷 II 347
10. ラムラ飯田橋 227
11. 神楽坂コート 131
12. 東京理科大学神楽坂キャンパス10号館アネックス 478



## 1. つくばエリア

**筑波大学** : Research Studio (Stanford やUCSDと連携。領域リーダーによるメンタリングと専門家による伴奏)  
**TGI** : 関東地域における医療機器事業化支援 (POC取得支援、許認可・保険戦略策定支援、事業化戦略策定支援、海外との拠点外連携)  
**TLSK** : ①ピッチ会 (研究プロジェクトの創出、共同研究・共同事業を創生) ②若手交流会  
**つくば市** : つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム (国内外からの人材・資金・企業等獲得)  
**TCI** : ①創業支援 (情報提供、創業について短期スクール) ②資金調達支援 (VC向けピッチ会、補助金助成金の獲得支援) ③イノベーションマッチング (大企業・VCとのマッチング)

## 2. 柏の葉エリア

**アジア・アントレプレナーシップ・アワード運営委員会** : AEA (アジアの技術系スタートアップによるビジョン)  
**NCC・UTEC・Beyond Next Ventures** : NCC Venture Incubation Program (臨床開発・事業開発・薬事・経営に関するコンサルテーション)  
**三井不動産・柏市** : KOILスタートアッププログラム (ビジネスプラン作成セミナー、個別メンタリング、実証相談)  
**柏市・TXアントレプレナーパートナーズ** : スタートアップ・コンシェルジュ事業 (ビジネスモデルのブラッシュアップや経営支援、ビジネスマッチング等)

## 3. HOTS HILL

**TIP** : Innovation Idea Contest (シーズを新時代の医療・健康に繋げるアイデアコンテスト)  
**東京大学** : ①FoundX (アイデアから資金調達まで起業の初期を様々なプログラムと個室提供でサポート) ②東京大学バイオデザイン (プロジェクトベースでニーズの探索から事業化まで一貫通貫的教育プログラム)  
**東大IPC** : 1stRound (資金およびハンズオン支援、海外アクセラレーションへの連携)  
**Beyond Next Ventures** : BRAVE (人材マッチングを通じた創業チームの強化と、起業家・投資家によるメンタリングを通じて資金獲得の支援)  
**PLUG and PLAY JAPAN** : Plug and Playプログラム (SUの顧客獲得、資金調達、事業成長に向けた伴走支援、海外展開支援、大手企業との協業支援、各業界のKOLによるメンタリング)

## 4. 日本橋エリア

**INDEE Japan** : X-DOJO (500~1000万円のシード出資、4か月間の教育プログラム、KOLによるメンタリング)  
**Beyond Next Ventures** : BRAVE (人材マッチング、最大1,000万円の資金提供、助成金の獲得支援、投資家・起業家からのメンタリングや事業会社とのマッチング)  
**DCIパートナーズ** : ベンチャークリエーション投資 (有望な医薬候補品への投資、ファンド主導で会社を設立、開発・薬事・知財・事業開発・海外展開を推進)  
**国立がん研究センター** : センター発ベンチャー認定制度 (シーズ開発の支援)  
**LINK-J** : Out of Box 相談室 (製薬企業、ベンチャーキャピタル、コンサルタントなどとの実用化に向けた相談)

## 5. 川崎エリア

**K-NIC** : ①起業・事業相談 (経営、マーケティング、雇用、知財などの相談会) ②ビジネスマッチング (VCによるリバースピッチやメンターによる事業会社、金融機関とのマッチング)  
**iCOMN** : iCOMN in collaboration with BioLabs (米国BioLabs社と連携してスタートアップの成長支援)  
**キングスカイフロント** : 殿町コネク (川崎市産業振興財団による支援)  
**RINK** : 殿町を拠点とした再生・細胞医療等のネットワーク (バリューチェーンの構築・事業支援)  
**かながわサイエンスパーク (KSP)** : 創業成長支援 (起業相談、投資ファンド・ビジネスマッチング等)

## 6. 横浜エリア

**LIP横浜** : 海外展開・人材育成支援 (Biocom California(米・サンディエゴ)と提携、LIP.YOKOHAMA BIBLIOでのセミナー開催)  
**YOXO** : 横浜市スタートアップ成長支援(YOXOイノベーションスクール、YOXOアクセラレータープログラム、横浜ベンチャーピッチ、YOXOマネジメントプログラム、YOXOスタートアップ相談窓口)  
**東京工業大学** : ①スタートアップエコシステム形成支援(START)(大学からのシーズの実用化に向けてスタートアップ創出に一体的に取り組む) ②BRAVE(東工大とBeyond Next Ventureによる起業家支援の取り組み) ③アントレプレナーシップ教育機構(教育改革を進化させ、専門×教養×理工系アントレプレナーシップの全学教育を実施)

## 7. 湘南エリア

**湘南アイパーク** : ①iPark SAMURAI (法務、経理、知財、事業開発など幅広い分野での相談) ②Venture Mentoring Service (メンターがベンチャー企業に対して行う、育成プログラム。MIT-VMSの姉妹プログラムとして実施) ③Incubation Program (事業化のための資金、設備、ノウハウ、機会を提供する制度)

## 8. 千葉・かずさエリア

**千葉県** : ①革新的ベンチャー企業成長促進プログラム事業 (専門家による助言、パートナー企業や投資家の紹介などの短期伴走支援) ②ちば起業家応援事業 (ビジネスコンテスト、交流会等の起業支援) ③オープンイノベーション交流会の開催 ※①~③は、「柏の葉エリア」を含む千葉県内全域対象  
**千葉大学** : 産学連携ジェトロデスク (海外展開支援)  
**NITE** : ①DBRP (生物資源データプラットフォーム; 微生物情報の提供、マッチング支援) ②カルタヘナ法相談窓口 (鉱工業分野の第二種使用に関する相談対応)





# 第5回実務者会議 報告

## 2024年1月24日 第5回実務者会議を川崎・殿町にて開催



現地参加:71名 オンライン参加:45名(計116名)  
見学者:60名



小沢 修一 氏  
(川崎市)  
殿町エリアの説明



増永 太郎 氏  
(アステラス製薬)  
「オープンイノベーション  
への取組み」



懇親会



(出典：キングスカイフロント公式ホームページ)

- (1) 2年間のGTB圏内における成果総括・GTBサポーターの紹介
- (2) GTB注目の活動
  - (2)-1 HOTS HILL:UIDP Tokyo Forumの開催報告（東大・渡部副学長） オンライン
  - (2)-2 アステラス製薬:オープンイノベーションへの取組み(SakuLab、つくば一柏の葉取組み等)（アステラス製薬・増永太郎様）
  - (2)-3 iPark-韓国連携について（アイパーク・渡辺様）
  - (2)-4 GTB圏における新設インキュベーション構想
- (3) GTB来年度計画(案)、バイオイノベーション推進8拠点来年度計画(案)
- (4) GTBのワーキンググループ活動について
- (5) GTBコラボイベントの説明と事例報告(東京コンソーシアムとのコラボイベント)
- (6) GTBホームページの紹介、アカデミアシーズの発展促進について
- (7) ジェトロの取組み（ジェトロ・佐藤様）

## Shimadzu Tokyo Innovation Plaza

- 2023年1月開所、約100人の従業員が入居
- 分析計測機器ラボの他、体験型ショールーム、講演ホール・ラウンジなど、最先端の「魅せる」ラボ空間



人工骨の強度、ソーセージの噛み  
応えなども、これで計測できます



島津オリジナル日本酒  
「源遠流長」  
狙った味覚の日本酒を作れる  
かどうかのプロジェクト

一般販売しておりません

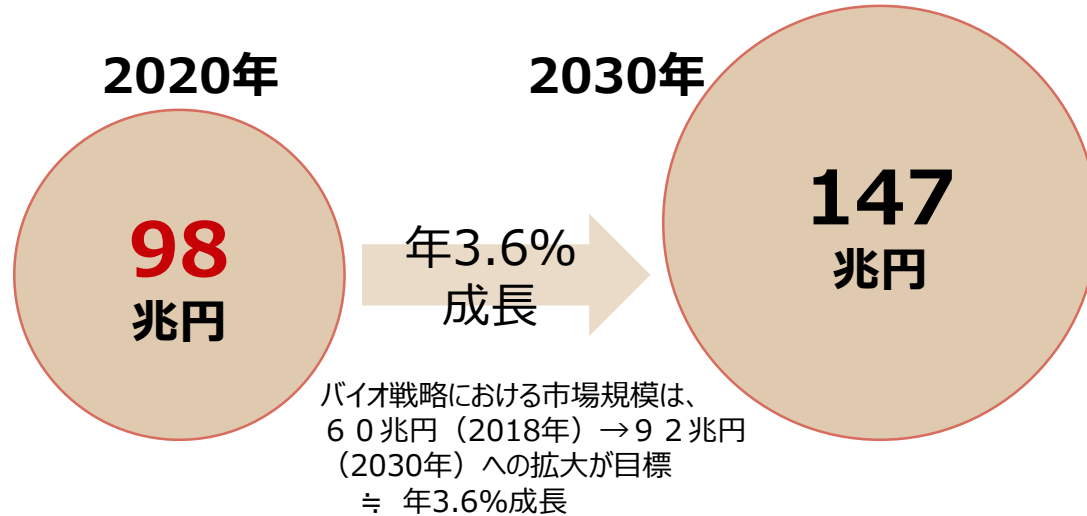






## KPIの進捗

## 最上位のKPI (東京圏の企業の売上高)



バイオ関連5団体\*)の加盟企業(上場および非上場)の**売上高合計**

= **東京圏98兆円**(2020年)  
(参考: 全国**153兆円**)

\*) バイオインダストリー協会, 再生医療イノベーションフォーラム, 日本製薬工業協会, 農林水産・食品産業技術振興協会, 日本バイオテック協議会  
売上高: 各社の直近の通期決算情報に基づく(2022年1月末時点)

以下の項目については、引き続き指標化可能性を検討する

- 雇用者数
- 企業(全体、バイオベンチャー)の株式時価総額

## サブKPI

**新規大型共同研究の形成件数**  
年5~10件(2030年)

**バイオベンチャーへの投資額**  
推定330億円(東京圏)/年  
→ **3,500億円/年(2030年)**

うち、**海外からバイオベンチャーへの投資額**  
推定20~30億円/年  
→ **1,700億円/年(2030年)**、  
上記投資額の半分を海外から)

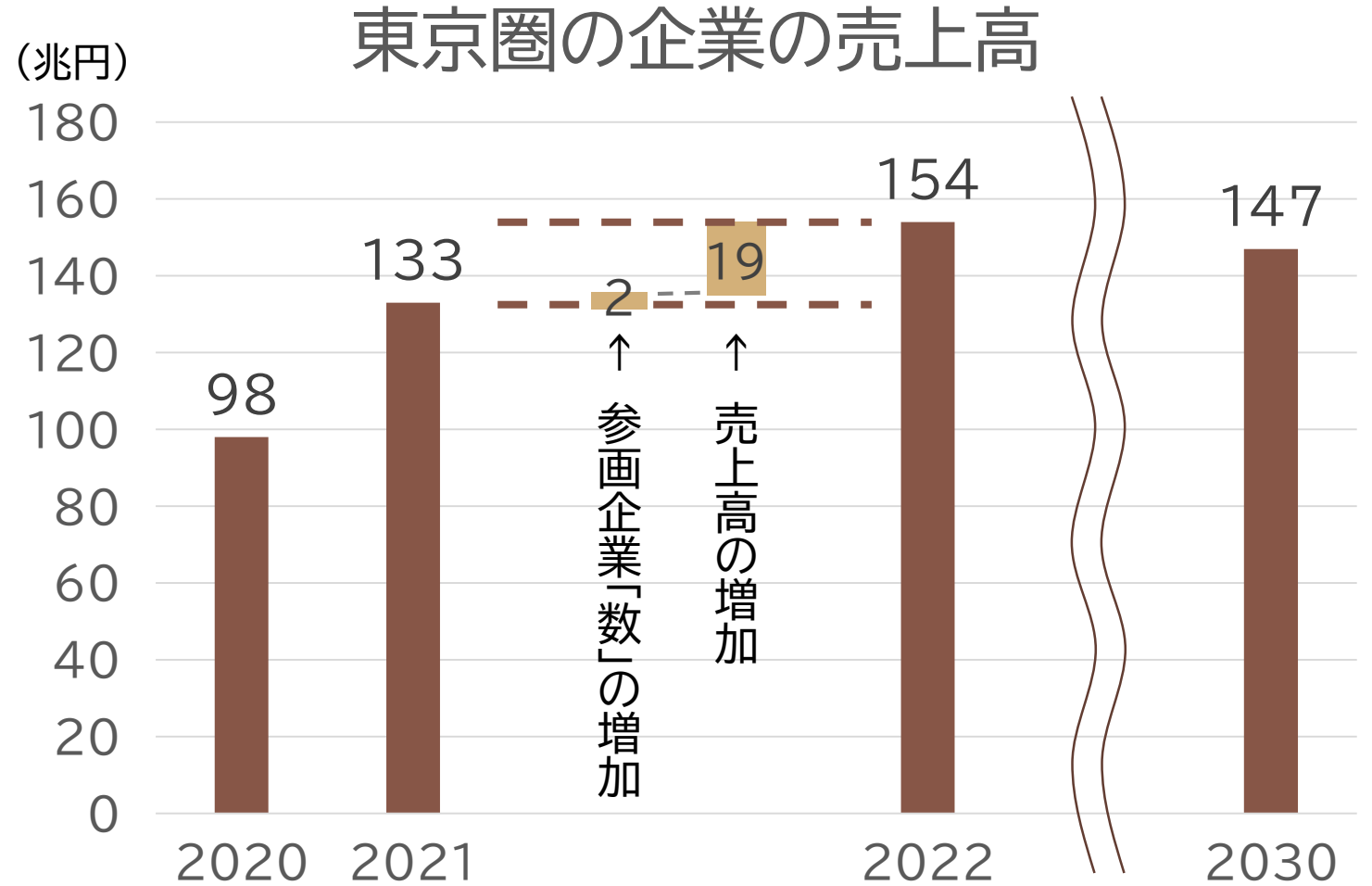
**スタートアップエコシステムランキング(ライフサイエンス分野)**  
25位(2021年)  
→ **5位以内(2030年)**

出典: GTB活動マスタープラン(2022年)から一部数値の修正

## 最上位のKPI （東京圏の企業の売上高）

バイオ関連5団体#)の加盟企業（上場および非上場）の売上高合計

#) バイオインダストリー協会, 再生医療イノベーションフォーラム, 日本製薬工業協会, 農林水産・食品産業技術振興協会, 日本バイオテック協議会  
売上高：各社の2022年度の通期決算情報に基づく



出典：JBA集計(2023年)

# バイオ関連企業の成長率は全産業平均より高い？

## 東京圏のバイオ関連金企業

	2020	→	2022
売上高	98		154兆円
売上高の増加			12 + 19 = 31兆円
参画企業「数」の増加			23 + 2 = 25兆円

2020年時点の対象企業に限れば、  
次のように売上高が拡大した

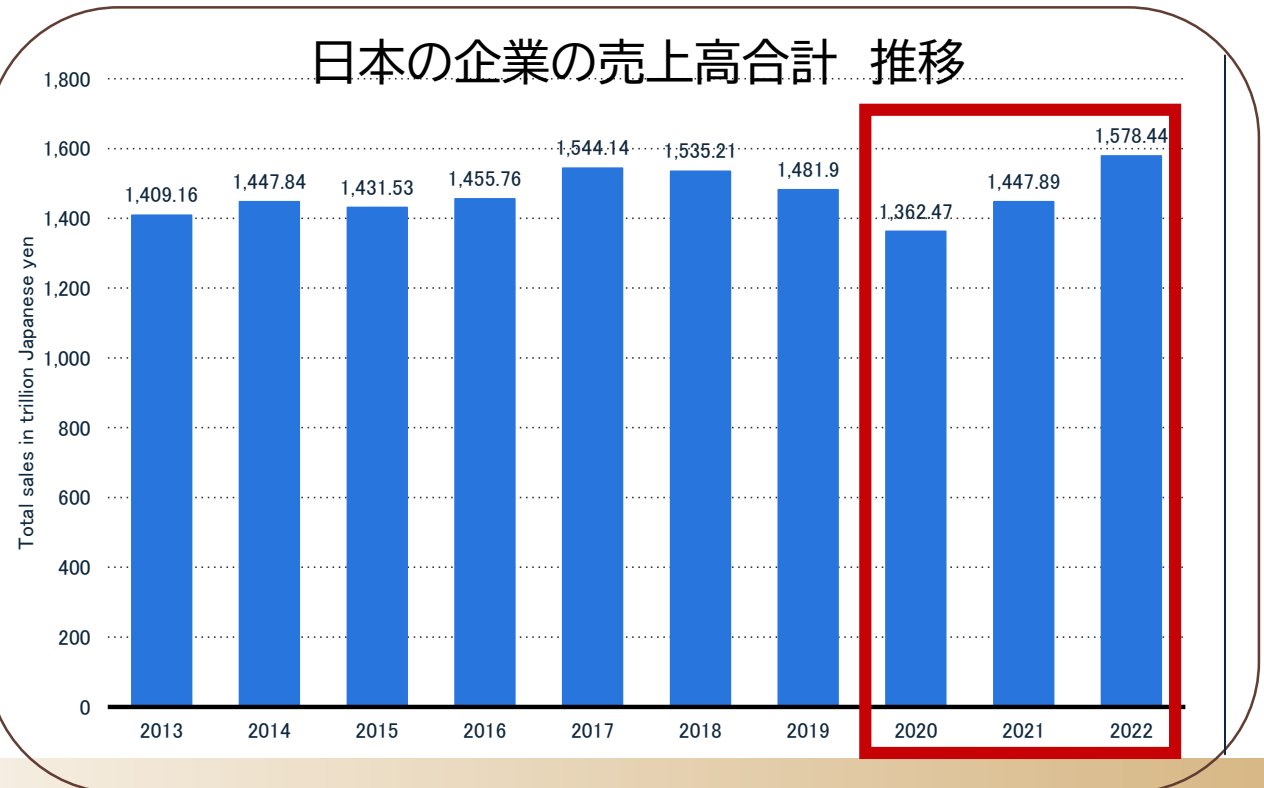
	2020	→	2022
売上高	98	+31	=129兆円
年平均成長率			<b>14.7%</b>

## 全産業

	2020	→	2022
売上高	1362		1578兆円
年平均成長率			<b>7.6%</b>

出典: Statista

(観測期間が短いものの)  
2020-2022年は東京圏の  
バイオ関連企業の成長率のほうが  
全産業平均より高い



## バイオベンチャーへの投資額

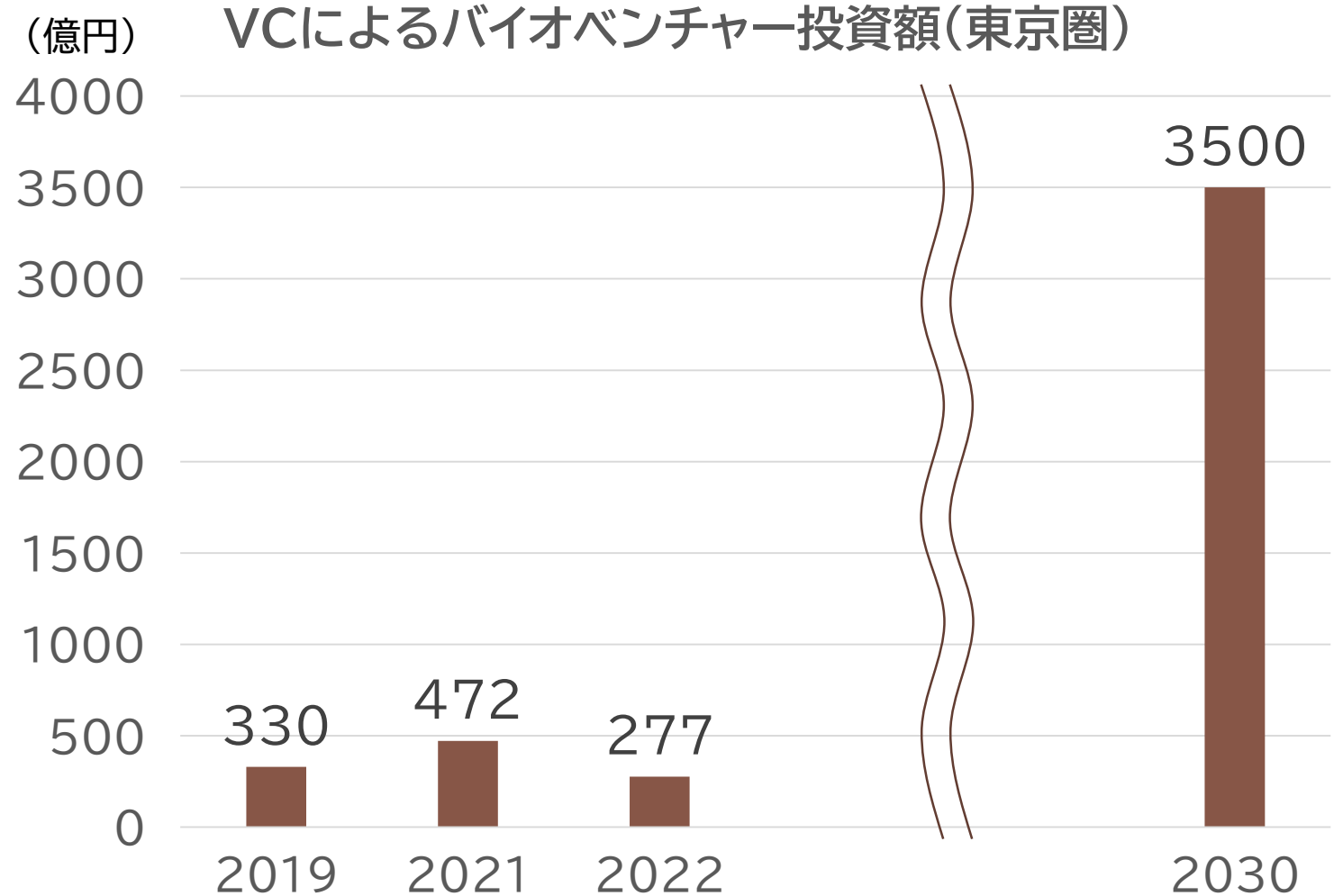
推定330億円（東京圏）／年

→ **3,500億円／年（2030年）**

## うち、海外からバイオベンチャーへの投資額

推定20～30億円／年

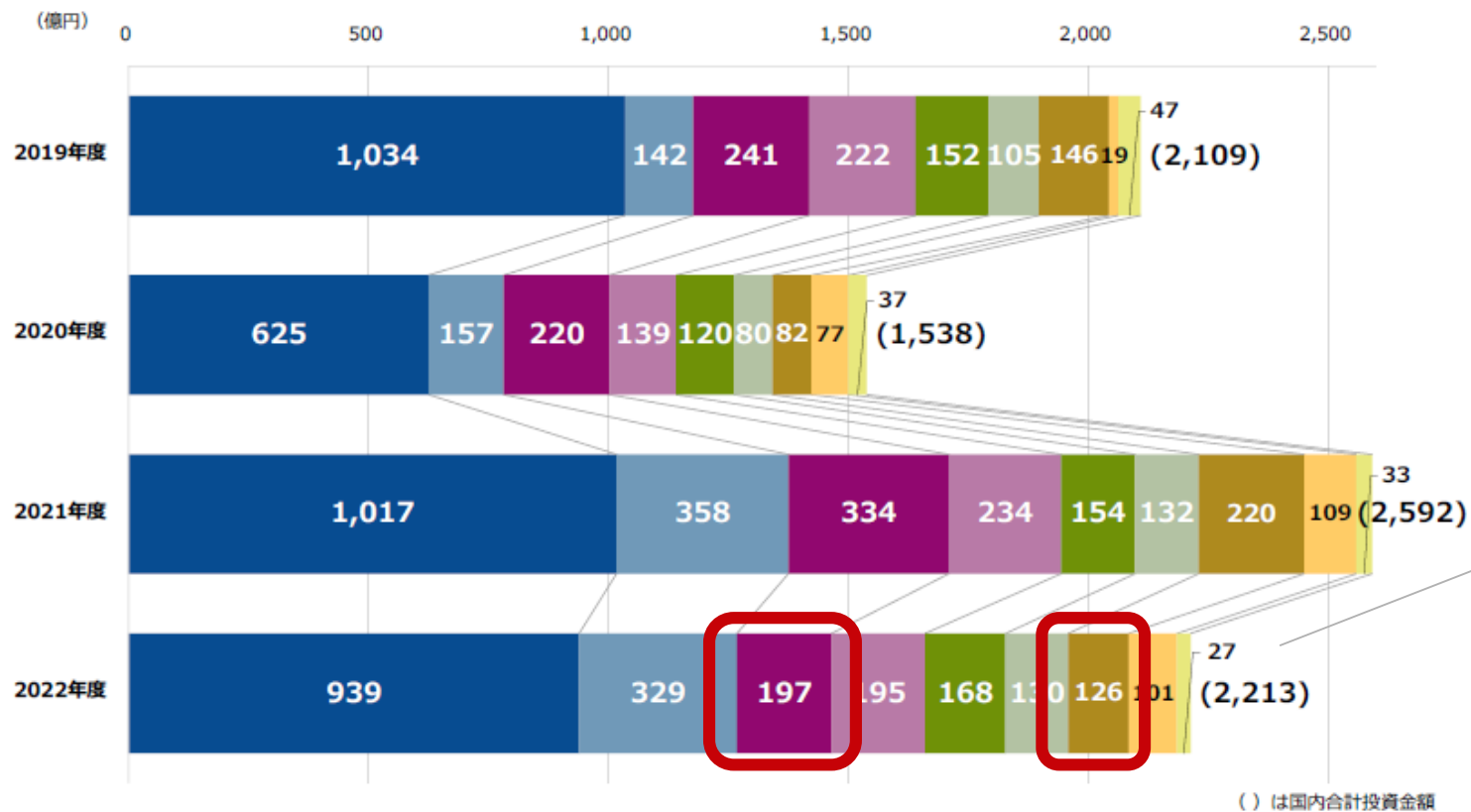
→ **1,700億円／年（2030年、上記投資額の半分を海外から）**



出典:『ベンチャー白書2023』(VEC、2023年)をもとにJBA集計(2024年)

## 投資先業種(国内向け:金額比率)

出典:ベンチャーエンタープライズセンター『ベンチャー白書2023』(2023年)



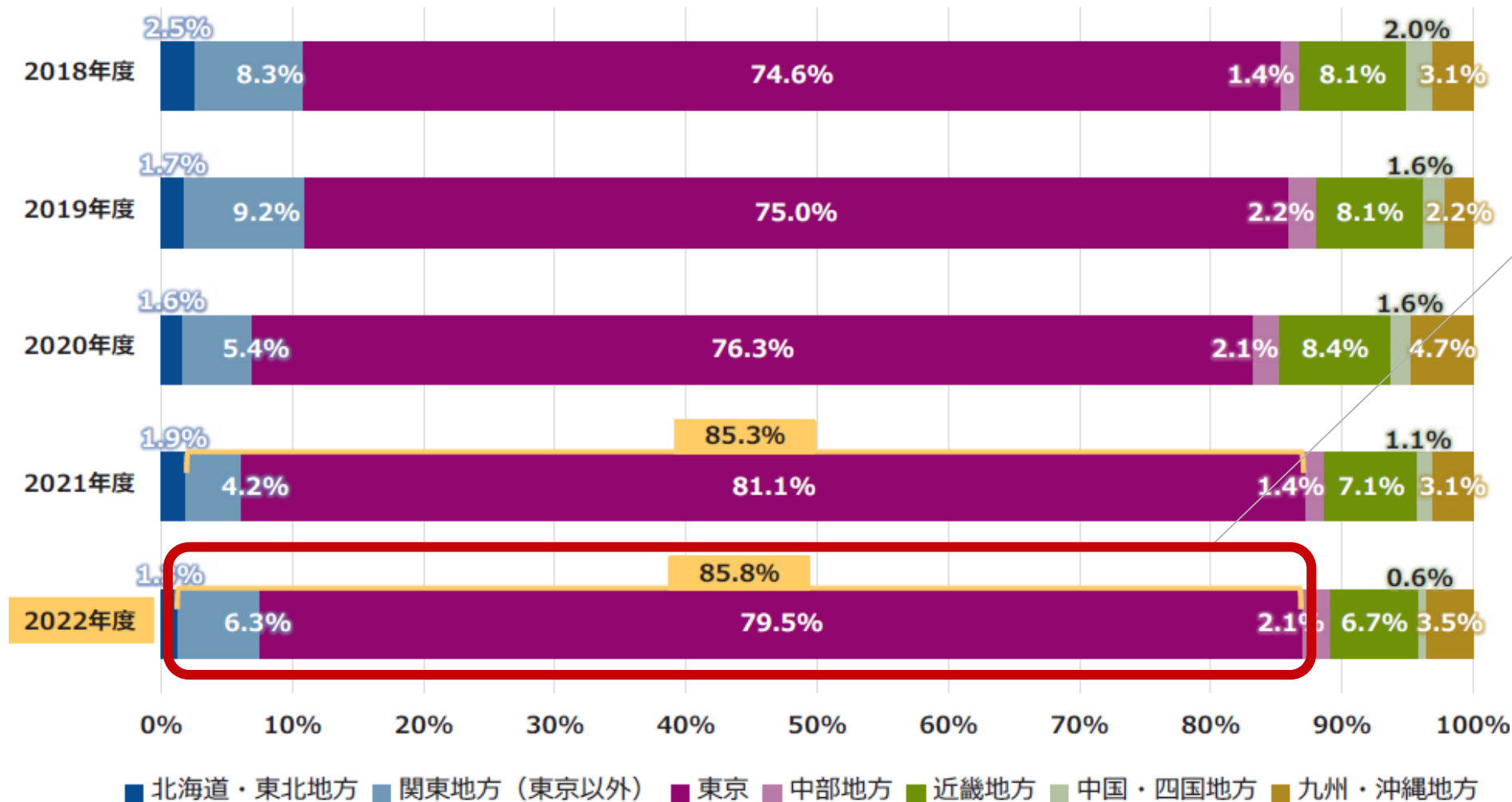
国内向け投資額は  
**323億円**(2022年)

バイオ、医薬  
+医療機器、ヘルスケアサービス

- コンピュータ及び関連機器、ITサービス
- 工業、エネルギー、その他産業
- バイオ、製薬
- メディア、娯楽、小売、消費財
- 金融・不動産、法人向けサービス
- ソフトウェア
- 医療機器、ヘルスケアサービス
- 通信・ネットワーキング及び関連機器
- 半導体、電機一般

## 投資先地域 (国内向け:金額比率)

出典:ベンチャーエンタープライズセンター  
『ベンチャー白書2023』(2023年)



東京圏は85.8%

東京  
+ 関東地方(東京以外)

2022年、  
バイオベンチャー投資  
(東京圏)は  
年間**277**億円程度  
と推定



# GTBコラボイベント 報告



# GTBコラボイベントリスト (1/3) 2024.1~3

- GTB参画機関が主催するイベントに、GTBが後援・共催・協力
- GTBはイベントの周知に協力し、知名度向上、影響力向上、目指す
- コラボイベント全体で、GTB目標の達成に貢献する活動を網羅することを期待



1/8 [Link-J主催、GTB後援]  
・ Japan Night @ San Francisco



1/19 [農研機構 他 主催、GTB協力]  
・ つくば医工連携フォーラム 2024



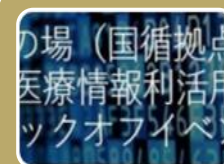
1/19 [川崎市、川崎市産業振興財団、日本バイオテク協議会] 日本バイオテク協議会1月例会



1/26 [Link-J共催、GTB後援]  
・ 再生医療産業化フォーラム2024



2/1 [湘南アイパーク主催、GTB後援]  
・ 再生医療・細胞治療セミナー (Vol.2)



2/6 [LSIC主催、GTB協力]  
・ RWD・医療・研究データ利活用分科会



2/9 [BioJent主催、GTB後援]  
・ From Lab To Market, Commercializing University Technologies, U.S. and Japan



2/29 [東工大主催、GTB協力]  
・ アグリフードヘルスイノベーションフォーラム




3/5 [横浜市 他 主催、GTB後援]  
・ 横浜市×CIC Japan Deskオンラインセミナー



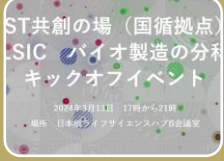
3/5 [LSIC主催、GTB協力]  
・英国MedCityとのAdvanced Therapy共催ウェビナー




3/8 [東京都主催、早稲田大/GTB協力]  
・「Food x Biotech 未来会議」産業・科学技術・文化の越境で未来を探る！




3/13 [川崎市産業振興財団主催、GTB共催]  
・中分子創薬に関わる次世代産業研究会～次世代の核酸合成と創薬～




3/13 [LSIC主催、GTB協力]  
・JST共創の場(国循拠点) x LSIC バイオ製造の分科会キックオフイベント




3/14 [農研機構主催、GTB協力]  
・第5回カイコ・シルク産業の未来




3/15 [BioJent主催、GTB後援]  
・Building Successful Team in Biotech Ventures



3/19 [湘南アイパーク主催、GTB後援]  
・再生医療・細胞治療セミナー (Vol.3)



3/25 [東大/柏の葉協議会主催、GTB後援]  
・東大新領域 第2回公開シンポジウム



3月 [東大/柏の葉協議会主催、GTB協力]  
・東大新領域 ゲノムスクール 第2部



5~6月 [産総研主催、GTB後援予定]  
・産総研・産技連LS-BT合同研究発表会

# GTBコラボイベントリスト (3/3) 2024.6~



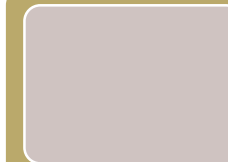
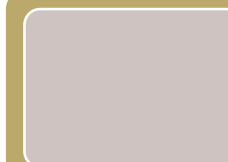
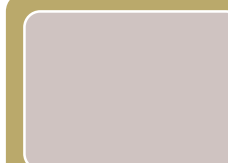
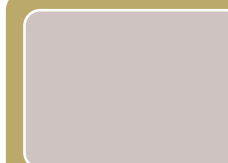
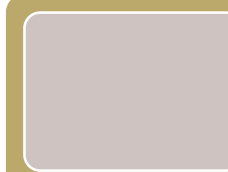
6~7月 [TGI主催、GTB協力予定]  
・医療機器事業化支援 国際シンポジウム



10~11月 [農研機構主催、GTB協力予定]  
・シルクサミット2024 in 岡谷



時期未定 [東京医科歯科大主催、GTB協力予定]  
・TIP catchupGATHERING



## 第1弾

2023年12月11日開催

@ Tokyo Innovation Base (有楽町)

Greater Tokyo Bioecosystem Summit  
～ファクトデータで紐解くバイオエコシステムの可能性～



## 第2弾

2024年3月8日開催

@ Tokyo Innovation Base (有楽町)

「Food x Biotech 未来会議」  
産業・科学技術・文化の越境で未来を探る！



### Tokyo Innovation Baseとは

- 東京都のスタートアップ戦略「Global Innovation with STARTUPS」に基づく施設 (2023年11月末に開所)
- 国内外からスタートアップやその支援者が集い、交流する一大拠点



## 2024年度計画(案)

## ■ 1. 研究開発から社会実装までの円滑化

### (1-4) 基盤の強化

#### ① ネットワーク形成促進

- ・情報発信: バイオイノベーション推進8拠点の継続的情報発信(日・英)、GTBコラボイベントの発信・活用促進
- ・ネットワーク形成活動: 拠点間の連携促進 (対面交流促進:実務者会議など)
- ・ネットワーク活動: 国内・国際イベントへの参画  
BIO(6月)、BioJapan (10月)、BIO-Europe (11月) への参加 など
- ・協議会メンバーの広報媒体によるバイオコミュニティ紹介 (例: JBA「B&I誌」等)

23年度から活発化

#### ② 人材育成・活用促進

- ・協議会メンバーの人材育成策の可視化と相互利用の促進
- ・バイオものづくり(NEDO)の活動の利用促進
- ・バイオ医薬・ワクチンデュアルユース生産を支える人材の育成策の検討

#### ③ 拠点整備

- ・バイオイノベーション推進8拠点ごとの整備計画の具体化と実行予算の確保

#### ④ 規制・制度に関する対策

- ・GTB協議会での議論に基づく政策提言・提案の実施

#### ⑤ GTB司令塔機能の強化

- ・東京圏を俯瞰し、8拠点の有機的連携や人材育成・活用促進を主導
- ・政策提言・提案の原案作成と政府への働きかけを実施
- ・将来的な司令塔組織の在り方を検討

## ■ 2. 国際活動

### (2-1) イノベーション拠点としての認知度向上

#### ① 周知活動

- ・GTB HPでの英語情報の発信の**継続・活性化**
- ・海外バイオ産業イベントでのGTB活動紹介講演の実施: BIO(6月), BIO-Europe (11月)
- ・海外在住の日本人ネットワークとの連携(例: **GTBサポーター**)

23年度中に3名のサポーターを認定

#### ② メディア対策

- ・ニュースメディアとの継続対話(例: Startup Genome、EU-Japan News等)

### (2-2) 海外からの投資拡大、海外への展開支援

#### ① 海外からの投資促進

- ・バイオ産業イベントでの海外企業の日本進出・日本企業との提携支援  
BIO(6月), BIO-Europe (11月), BioJapan (10月) 等
- ・バイオ産業イベントを通じた日本のアカデミア・ベンチャーの実力アピール

#### ② 海外展開支援

- ・世界のイノベーション拠点開発状況の調査
- ・ジェトロ等と連携した国内バイオベンチャーの海外進出支援
- ・アカデミアの国際連携支援
- ・**欧米のインキュベーション機能の活用強化**

## ■ 1. 研究開発から社会実装までの円滑化

### (1-1) 先端的な共同研究の形成促進とビジネスマッチング

#### ①協議会メンバーによる共同研究の提案

- ・国のバイオ戦略改定への提言(横断的事項、バイオものづくり、フードバイオ、医療・ヘルスケア)

#### ②GTB関連国家プロジェクトおよび協議会メンバーの研究成果のビジネスマッチングの加速

- ・BioJapan、ヘルスケアベンチャーサミット等を活用したビジネスマッチングの実施
- ・分野別ビジネスマッチングの実施
- ・個々の協議会メンバーによる草の根的ビジネスマッチングの実施
- ・国家プロジェクト間の連携促進

2024年5~6月頃、バイオ戦略の改定版が公開予定

### (1-2) ベンチャー育成の促進、VCの活性化

- ・域内の起業家育成やベンチャー支援活動の効果の最大化
- ・バイオイノベーション推進8拠点、産業支援機関等の取り組みの有効化
- ・政府の創薬ベンチャー育成策(3500億円)の利用加速
- ・東京コンソーシアムとの連携活動活発化
- ・国内外VC・ベンチャー育成機関との活動連携の推進
- ・バイオベンチャーデータベースの整備・活用

23年度から活発化

### (1-3) 生産設備の投資促進、金融支援

- ・政府のバイオ医薬・ワクチンデュアルユース生産設備導入促進策(3,300億円)のGTB域内での利用加速



# バイオイノベーション推進8拠点の2024年度活動・整備計画(案) 2024.2.28



(注)これら以外に、新宿・信濃町、早稲田、築地・台場、所沢、和光などにも萌芽がみられる

## つくば

- ・「つくば型デジタルバイオエコミー社会形成の国際拠点」として、大学、各国立研究機関等とのさらなる連携推進、デジタル/データの共有・利用のための仕組みづくり、試料とデジタルの両方に対応できるスキルを持つ人材の育成、バイオ製造実証機能の強化
- ・「食の先端技術共創コンソーシアム」として、ゲノム編集技術等を用いた食に係るイノベーションの創出、日本のレギュレーションスタンダードをアジア・世界へ展開
- ・TLSK等を基盤としたつくば国際戦略総合特区のメリットをさらに活かす取組
- ・共用施設群、SakuLab-Tsukuba、X/S Worksite、TCI、つくば市等のインキュベーション施設の充実等によるベンチャー・企業等の集積

## 柏の葉

- ・柏の葉ライフサイエンス協議会をハブとした海外を含むエリア内外連携の強化
- ・自治体・アカデミア・企業によるライフサイエンス拠点化のワーキングを実施
- ・横断連携による課題解決やシーズの社会実装支援の具体案件進捗
  - 2023年度に始動したゲノムスクールの継続
  - AMED事業による再生医療シーズの支援開始・帝人CDO施設稼働
  - アステラス製薬・がんセンター等が連携した、がん関連のシーズ支援
  - 他組織との連携を行う千葉大学Biohealth Open Innovation Hub新設
  - 柏の葉データプラットフォームを活用した大塚製薬の栄養食品の臨床試験、がん検診受診率向上施策実施。同プラットフォームの他自治体展開開始

## HILLS

- ・ウエットラボが設置可能なインキュベーション施設の増設
- ・域内活動を共にする会員間のコラボレーション推進
- ・米国Bostonや英国London、Singaporeとの連携や海外企業との協創案件の創出
- ・Born Globalな創薬スタートアップの創出

## 日本橋

- ・継続的に国内外への発信力を強化するため、「日本橋エリアのプレーヤーおよび取り組み紹介冊子」を更新する。
- ・東京都とLINK J/CIC/MRIにて協業し、「ブロックバスター東京」を3年計画で実施。「キャリアフォーラム」の開催や「海外へのベンチャー企業派遣」等を行う。
- ・湾岸エリアにおけるウエットラボ（インキュベーション施設含む）を拡充する
- ・東京都のスタートアップ支援事業SUTEAM協定事業者によるスタートアップ支援を実施。
- ・GTB他拠点及びBiocKや地域バイオコミュニティとも連携、情報発信強化。

## 川崎

- ・羽田地区や国内外の他クラスターと連携したイベントの開催等、域内外の交流・連携促進及び情報発信力の強化
- ・研究・事業活動の活性化支援
- ・インキュベーション機能の拡充による高度人材の育成と呼び込み
- ・**かながわ再生・細胞医療産業化ネットワーク（RINK）による事業化支援や課題別WG・イベント開催等**

## 横浜

- ・企業、大学、研究機関等の連携の推進（イノベーション人材の育成等）
- ・BioJapanを通じた国内外との連携
- ・研究開発への助成、マッチング支援、**海外展開支援**
- ・スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX」を中核としたスタートアップ・起業家の創出と成長段階に応じた支援
- ・**特区制度や企業立地促進条例による国内外からの投資促進**

## 湘南

- ・次世代治療研究開発拠点の実現
  - 韓国中小ベンチャー企業部とのMOU締結を軸として、韓国シーズの早期承認を厚労省/PMDA協力の下、サポート
  - 湘南鎌倉総合病院との連携推進（橋渡し研究、バイオバンク、医療ビッグデータ）
  - 人材エコシステム構築による高質の人材育成機能の開始
- ・次世代ヘルスケアのヘルスイノベーション拠点構想の実現
  - 民間主体の社会実装コンソーシアムへの発展と地域内の産学の実証実験推進

## かずさ千葉

- ・かずさDNA 研究所や千葉大学を中核としたバイオ関連研究や社会実装の取組の更なる推進
- ・「GTB千葉・かずさホワイトバイオネットワーク（事務局：NITE）」を通じたホワイトバイオ分野の産学官連携の推進
- ・千葉大学を中心としたスタートアップ、アントレプレナー教育の推進
- ・NITEによるGI基金を活用したCO<sub>2</sub>を直接原料とするバイオものづくりの基盤整備事業の推進
- ・高い研究機能を持つ医療機関が立地する強みを活かした医工連携の推進

# バイオイノベーション推進8拠点の2030年に向けた整備計画 2024.3.4

## つくば

- ・「つくば型デジタルバイオエコノミー社会形成の国際拠点」として、大学、各国立研究機関等との連携、デジタル/データの共有・利用、試料とデジタルの両方に対応できるスキルを持つ人材の育成、バイオ製造実証機能の強化
- ・ゲノム編集技術等を用いた食料の安定的生産と食による健康の維持・増進の両立に向けたイノベーションにより、次世代産業の創出、日本のレギュレーションスタンダードをアジア・世界へ展開
- ・インキュベーション機能、アクセラレーションプログラム、資金調達、投資機能、海外展開支援の強化

## 柏の葉

- 柏の葉スマートシティに「生涯健康で暮らせる」「ヘルスケア/医療産業が生まれ育つ」エリアを実現し、恒常的にイノベーションを創出するエコシステムを形成
- ・「社会実装・検証の場」として 国内外の拠点との広範な連携
- ・各機関(国がん/産総研/千葉大/東大/東京理科大等)・行政・企業等の連携
- ・国がんを中核とした医療・ヘルスケア関連の社会実装にむけた研究推進
- ・各機関強みを活かしバイオ関連連携研究推進(食・植物・環境・エネルギー等)
- ・バイオ関連の人材育成・教育
- ・資金調達・投資機能の強化によるベンチャー・企業等の集積

## HILLS

- ・インキュベーション施設の拡充
- ・域内連携の一体的推進(東大・医科歯科・順天堂など、区・都)
- ・ベンチャーの成長ステージに応じた支援機能の整備強化
- ・資金調達、投資機能の拡充
- ・規制改革の取り組み(建物や海外人材の採用に係る規制など)

## 日本橋

- ・ベンチャーの成長ステージに応じたインキュベーション機能の強化
- ・資金調達、投資機能の拡充
- ・マッチング機能のさらなる充実
- ・海外展開につながるサービス機能の充実
- ・研究、臨床、ウェットラボ(インキュベーション施設含む)の拡充

## 川崎

- ・羽田地区との連携
- ・インキュベーション機能の拡充(キングスカイフロント及びその周辺)
- ・ベンチャーの成長ステージに応じた支援機能の強化
- ・研究開発・アントレプレナー等に関わる高度人材の育成と呼び込み
- ・情報発信力の強化(海外、国内)
- ・国家戦略特区や京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の活用強化

## 横浜

- ・企業、大学、研究機関等の連携のさらなる推進
- ・健康・医療分野の新技术・新製品の開発に向けた支援の充実(海外、国内)
- ・スタートアップの創出・誘致・成長発展に向けた幅広い支援の実施、グローバル拠点都市の推進
- ・情報発信力の強化(海外、国内)
- ・国家戦略特区や京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の活用強化

## 湘南

- ・次世代治療研究開発拠点として、CPC、CDMOなど支援設備・体制の整備と誘致
- 臨床研究病院(隣接する湘南鎌倉総合病院)との連携
- 研究開発・品質管理・製造に関わる高質の人材育成機能
- ・次世代ヘルスケアの社会実装を可能にする村岡深沢ヘルスイノベーション拠点構想の実現

## かずさ・千葉

- ・大学・各研究機関の連携のさらなる推進
- ・インキュベーション施設の運営やベンチャー企業(スタートアップ)への伴走支援等の実施
- ・研究・実証・社会実装に繋げる大学・研究機関-企業間連携の推進
- ・次世代研究者に対するアントレプレナーシップ教育と教育システムの強化
- ・産学官連携によるバイオものづくり(ホワイトバイオ分野)の共通課題への取組

(注)これら以外に、新宿・信濃町、早稲田、築地・台場、所沢、和光などにも萌芽がみられる

## 参考

GTBのビジョン

2023年9月、  
内閣府提出の活  
動計画より抜粋

東京圏を世界最高峰のイノベーションセンターにすることにより  
「2030年に世界最先端のバイオエコノミー社会を実現」の達成に貢献する

### GTBのミッション

1. 東京圏の実力を可視化し、海外に発信する
2. 参画機関や関連団体との連携を強化し、交流を促進する
3. 国内及び海外からの投資（研究開発・生産・人材育成・インキュベーションなど）を促進する
4. 規制・制度に関する提言・提案をする
5. 研究開発と生産の両方のサプライチェーンを見直し強化し、9市場領域を含む産業のポテンシャルを最大化する

### ゴール

#### バイオフィースト、異分野融合

- 毎年5～10件の新たな大型共同研究を形成する（SDGsに貢献する国プロジェクトの形成を含む）
- GTBと関連する国プロジェクトにおける企業への技術移転、社会実装が活発・円滑になされる状態となる

#### 持続可能で強靱なコミュニティ

- 国内の製造施設（バイオ医薬・ワクチンデュアルユース施設、バイオものづくり施設）が多く稼働し、専門人材が豊富な状態となる
- GTBの提言を通して規制や制度の改革が進み、世界最先端のバイオエコノミー社会の実現へと繋がっている

#### ヒト・モノ・カネの好循環

- 拠点の情報が可視化され、定期的に更新されている。
- 情報の共有や人的ネットワーク交流が活発に行われている
- 多数の新ビジネスが円滑に創出されている
- 世界市場を対象とするバイオベンチャーが活発になっている
- バイオベンチャー（東京圏）へのVC投資が現状年間330億円（推定）のところ、年間3,500億円以上（うち1,700億円は海外から）となる
- スタートアップエコシステムランキングで東京圏が5位以内に入る。（現状25位）
- 人材が流動し、新規事業に貢献している
- 新しいニーズに対応できるスキルを獲得した人材が活躍している
- バイオの産業集積地として海外レポート、メディアに採り上げられるようになる

# 参考

2023年9月、  
内閣府提出の活動計画より抜粋

## 5. 実施計画工程表

	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
経済・社会 インパクト			バイオ関連5団体の加盟企業（上場および非上場）の売上高 年3.6%成長					バイオ関連5団体の加盟企業（上場および非上場）の売上高合計147兆円		
								バイオベンチャーへの投資額 年3,500億円 （うち海外から 年1,700億円）		
								スタートアップエコシステムランキング （ライフサイエンス分野）5位以内		
共同研究の 形成促進			【見える化】 先端的な技術シーズを発信、国プロの社会実装支援						毎年5～10件の 新たな大型共同研究を形成	
				研究会活動などを通じ共同研究形成						
ベンチャー育 成促進			各推進拠点におけるバイオベンチャー設立支援、インキュベーション設備の整備促進						世界市場を対象とするバイ オベンチャーが活発に活動	
				バイオベンチャー投資を欧米並みに引き上げる環境の整備						
生産設備の 投資促進			新規モダリティを含めた生産設備投資の促進活動、バイオファウンドリー拠点の整備					国内の製造施設が多く稼働し、専門人材が 豊富な状態		
				製造人材育成、高度人材の流動性強化						
基盤の強化			ネットワーク形成促進、人材育成・活用促進					交流が活発で、新しいニーズに応じた人材が活躍し、 多数の新ビジネスが円滑に創出されている状態		
				域内イノベーション推進拠点の整備、規制・制度に関する対策						
東京圏の国 際認知度向 上			【見える化】 バイオ産業集積地としての東京圏の魅力の海外発信					海外レポート、メディアに採り上げられるようになる状態		
				【見える化】 メディア対策						
海外からの 投資拡大			国内外イベントにて海外企業の日本進出や日本企業との提携を支援					海外からのバイオベンチャー投資が活発な状態		
				バイオベンチャーの海外進出を支援						